

平成10年度魚類養殖生産者会議

1. 目的

養殖技術を向上させることにより養殖経営の安定を図る。

2. 対象

養殖グループ・市町村水産担当者・漁協職員

3. 共催

沖縄県漁業振興基金・沖縄県漁業協同組合連合会

4. 協力機関

水産振興課・名護市役所・羽地漁協

5. 実施場所

名護市民会館

6. 日程

平成10年4月8日

7. 内容

①県内魚類養殖の概況説明（普及所）

平成10年度の魚介類養殖用・放流用種苗需要調査結果・平成2～9年における魚類養殖の生産量と生産額（マダイの年別生産状況）

・平成2～9年における魚類養殖魚の平均単価のうごき・平成7～9年県内魚類養殖実態調査の概要、魚類養殖における経費割合・平成10年3月現在のクロカンパチの現存数と5kgサイズの推定数量についてOHPを使用して概要説明を行った。

②クロカンパチ及びトコブシ種苗の配布状況

（県漁連泊事業部購買課）

平成9年度のクロカンパチの導入時期・導入数・斃死数・梱包状況・稚魚の活力等について、平成10年度における導入方法・輸送梱包方法の改良点・種苗サイズの大型化・輸送時期の早期化等について、トコブシ稚貝導入についてはクロカンパチ同様、導入時期・導入数・斃死数・籠へ放養後の取り扱い等について概要説明が行われた。

③築地魚市場での養殖魚流通について

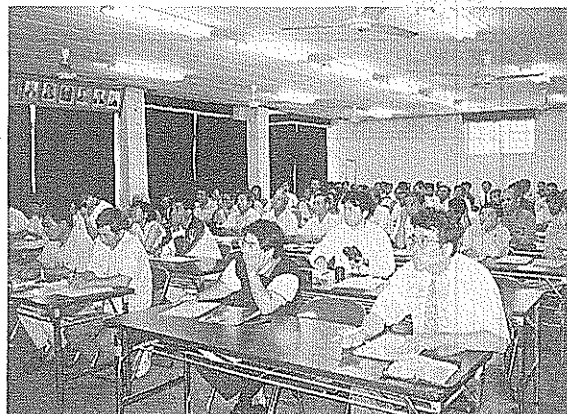
（大都魚類鮮魚課長）

東京都中央卸売市場における数年来の養殖魚の入荷量・価格変動・活魚流通状況等について市場関係者としての情報も交えて講演がなされた。クロカンパチについてはなじみの薄い魚種なので試験出荷を繰り返し仲買や消費者にクロカンパチの長所を認めてもらうことに努力することが望ましいとの意見がだされた。

④クロカンパチの販売促進について

（振興基金：知念局長）

以上の話題提供を報告後疑問点に対する質疑応答に移り、午後4時に閉会した。



名護市における平成10年度魚類養殖生産者会議参加者